

スポーツが「できる・楽しい」と感じる生徒の育成

【視覚化を重視した授業改善】

- ICT 機器を利用し、動作を視覚化
 - ・ 模範映像（動作解析）を見せる。
 - ・ 共有ツールで動きを比べる。
 - ・ 自分の動きを撮影し、メタ認知を促す。
 - ・ 動きを撮影したものを根拠に、指導や評価をする。
- 段階的課題を与え、個人の伸長を視覚化。
 - ・ 達成感を感じられる課題設定カードを活用する。
 - ・ 技能評価の場を細かく設定する。
- 教え合い活動を活性化するため、視覚化した教材を活用する。

【生徒が抱える学習に関する難しさ】

- (1) 動作が全く理解できず、学習意欲がなくなっている。(LD 傾向)
- (2) 運動動作がぎこちなく、うまく体が使えない。(協調性運動障害の疑い)
- (3) 集中が長続きせず、解説を聞き逃す。(ADHD 傾向)
- (4) コミュニケーションに課題があり、学び合いに参加できない。(ASD 傾向)

運動が苦手、どうやったらいいかわからない生徒